

岐阜県立郡上北高等学校

〒501-5122 岐阜県郡上市白鳥町為真1265-2 ☎0575-82-2073

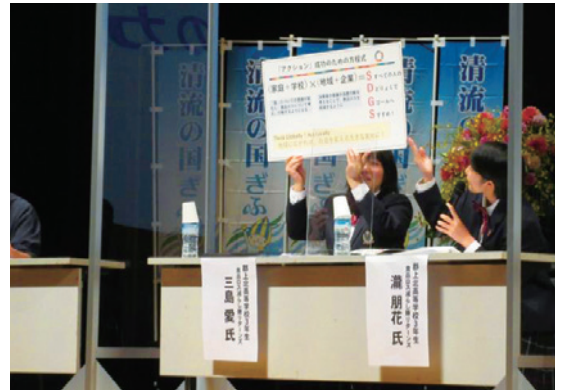
活動団体 食品ロス減らし隊 活動人数 12人 主な活動時間 休み時間や放課後

Think Globally! Act Locally! ～食ロス削減の取り組みを家庭・地域へ～

きっかけ

2020年、活動の中心メンバーたちは家庭科の授業で食品ロス問題を知る。国内で年間600万トンもの食べものが無駄になっており、その半分が家庭からの廃棄という事実には、人生観が変わるほど驚いた。「知ったからには責任がある。このままでは済ませられない!」と、「食品ロス減らし隊」を結成して活動を始めた。

この年は飲食店や家庭などで出る食品廃棄物削減に向けた啓発活動を実施。地元・郡上市と、食品ロス削減のために協力する連携協定も結んだ。



岐阜県SDGs推進フォーラムにパネリストとして登壇した。

活動内容

翌2021年には、地元白鳥町の小中学生とその保護者、高校生約800名を対象に行ったアンケート調査から、「冷蔵庫や食品ストックの管理ができれば、家庭内の食品廃棄は減少する」と考えた高校生たち。一つひとつの家庭の行動を変えるには、まず現状を一つひとつ知ってもらう段階から始めようと考えた。

地域に向けてケーブルテレビやタウン誌を通した食品ロス削減の呼び掛け、パネルを持参し訪問による小中学生への食品ロス削減の呼び掛けを実施。さらに実際に食品ロスを削減する活動として、賞味期限ぎりぎりの食材を有効活用するメニュー開発を行い、地元駅前での販売とSDGsへの理解を促す「駅舎カフェ」も企画した。

2022年には、小中学生への呼び掛けを継続したほか、食材管理のアイデアを盛り込んだ「食ロス削減カレンダー」を作り、イベントと郡上市内の全中学生に配布するなど、地域に密着して発信の幅を広げている。



「駅舎カフェ」の告知ポスター。

成果

チームワークと持ち前の行動力で、校内、小中学校、地域を巻き込んで、活動の輪が広がった。「市内の小中学校、郡上市、企業など、同じ目標を達成するためのネットワークが出来上がったのが成果」と生徒たちは力を込める。新聞などでも、活動を取り上げてもらうことが増えている。食品ロス削減への理解と協力の輪が広がっていることを実感する瞬間だ。

活動エピソード

活動の転機になったのは、郡上市へ活動説明に行ったとき、環境水道部の方から、「学校給食に賞味期限ぎりぎりの食材を用いることは衛生管理上難しい。まずはケーブルテレビなどを活用して食品ロス削減を呼び掛けてみては?」というアドバイスをもらったことで、目標実現につなげるうえで大きな指針となっている。

今後の展望

食品ロスの問題を知ってもらい、削減に向け一人ひとりに考えてもらうなかで、意識が変わり、行動に結びつく段階まで進んでいる。今後は活動の輪を広げ、地域が変わる、社会が変わる「Change」の段階を目指していく。